

東京湾海況情報 R05-10

東京湾水質調査結果（令和6年1月）

（令和6年1月30日発行）

千葉県水産総合研究センター

東京湾漁業研究所

〒293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsusokuho@pref.chiba.lg.jp

千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 1/10, 17 ふさなみ, 関東・東海海況速報

1月10日、17日にふさなみで行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

【水温・塩分】

表層水温は、内湾で11~13℃、内房海域で11~18℃でした。表層塩分は、内湾で31~33、内房海域で33~35でした（図1, 2）。内湾の底層には湾口の高塩分水が進入していました。内房北部海域では、沖合水（高水温、高塩分）の波及がみられました（表1）。

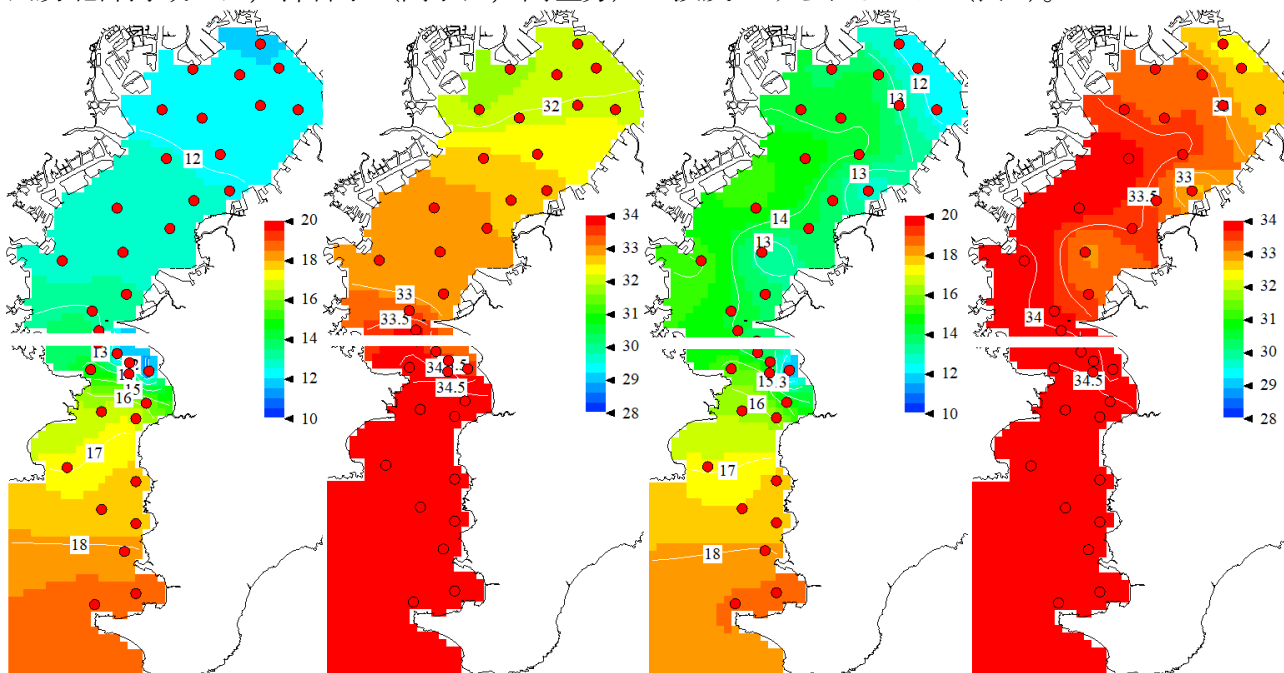
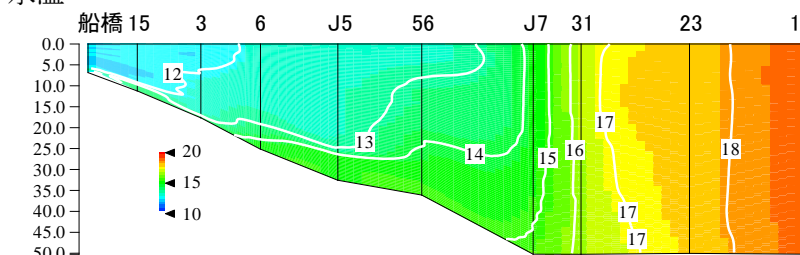


図1 表層の水温・塩分

図2 底層の水温・塩分

水温



塩分

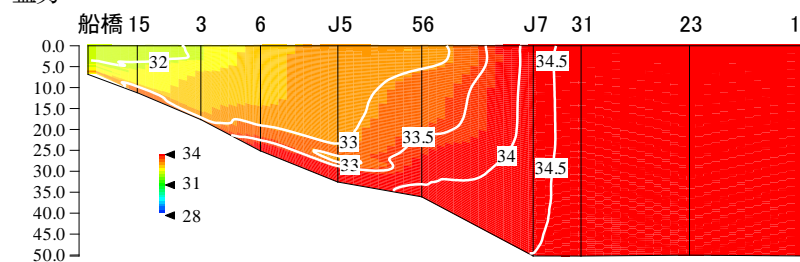


図3 縦断面の水温・塩分

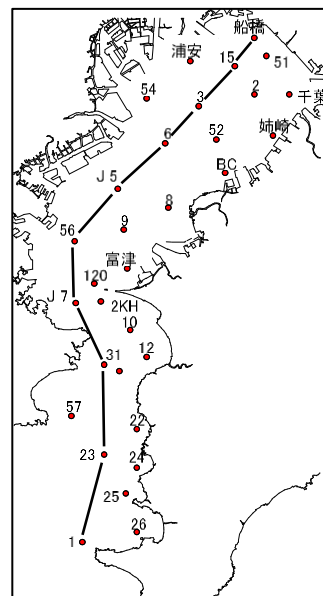


図4 水質調査点
（実線は調査ライン）

【赤潮】

透明度は、内湾で2.5～6.0m、内房海域で3.0～22.0mでした(図5)。植物プランクトンの指標となるクロロフィルa濃度は、内湾で5μg/L以下～14μg/L、内房海域で5μg/L以下でした(図6)。赤潮はみられず、植物プランクトンの優占種は珪藻タラシオシラ属などでした。

千葉県の赤潮の目安

色	オリーブ～褐色
酸素飽和度	150% 以上
透明度	1.5 m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィルa	50 μg/L 以上

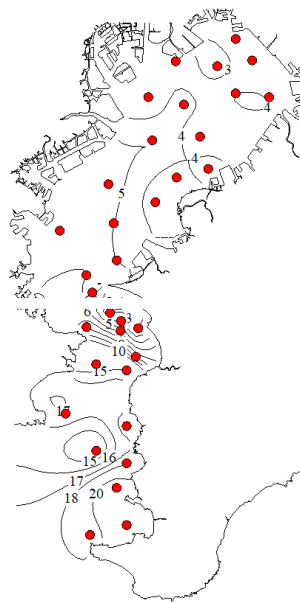


図5 透明度

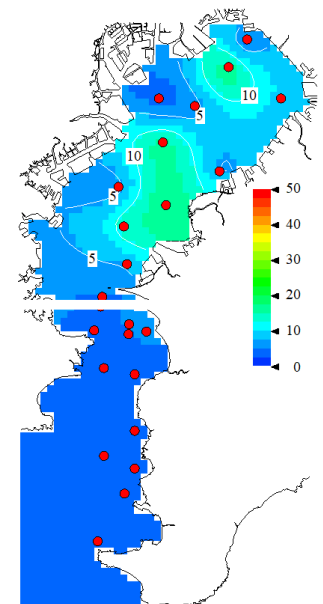


図6 クロロフィルa濃度

【貧酸素水塊】

貧酸素水塊はみられませんでした(図7, 8)。

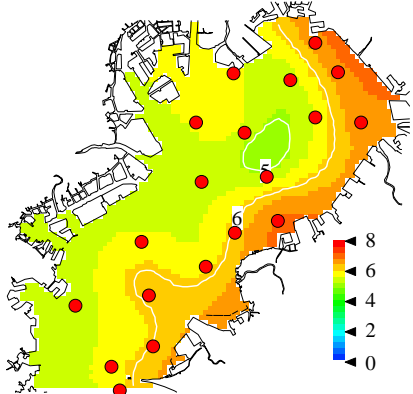


図7 内湾底層の溶存酸素量 (ml/L)

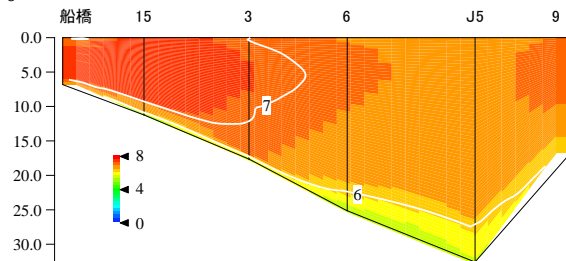


図8 内湾縦断面の溶存酸素量 (ml/L)

貧酸素水の基準

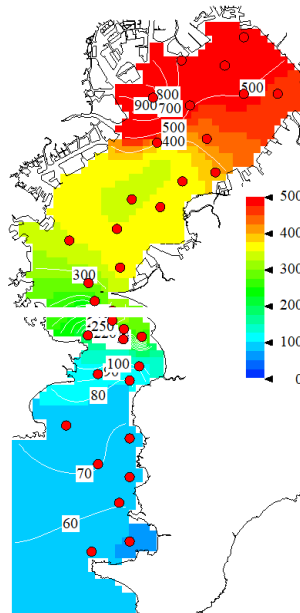
溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50% 以下

【栄養塩】

表層の窒素 (DIN) は、内湾で290～930μg/L、内房で50～320μg/Lでした。表層のリン (DIP) は、内湾で14～45μg/L、内房で6～13μg/Lでした(図9)。

湾奥の一部を除き、ほぼ全域で窒素、リンとも最近10年平均よりもやや少なくなっていました(表1)。

DIN



DIP

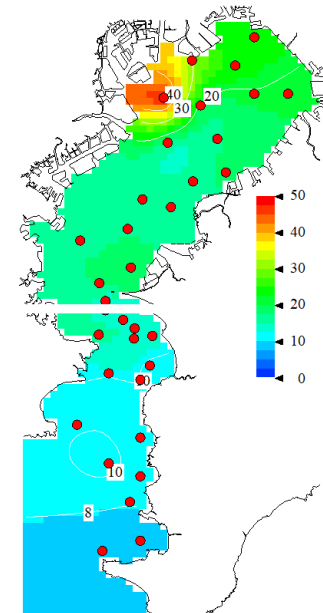


図9 表層の栄養塩濃度 (μg/L)

【黒潮】

黒潮はA型流路でした。東京湾の内房海域では沖合水の波及がみられました。

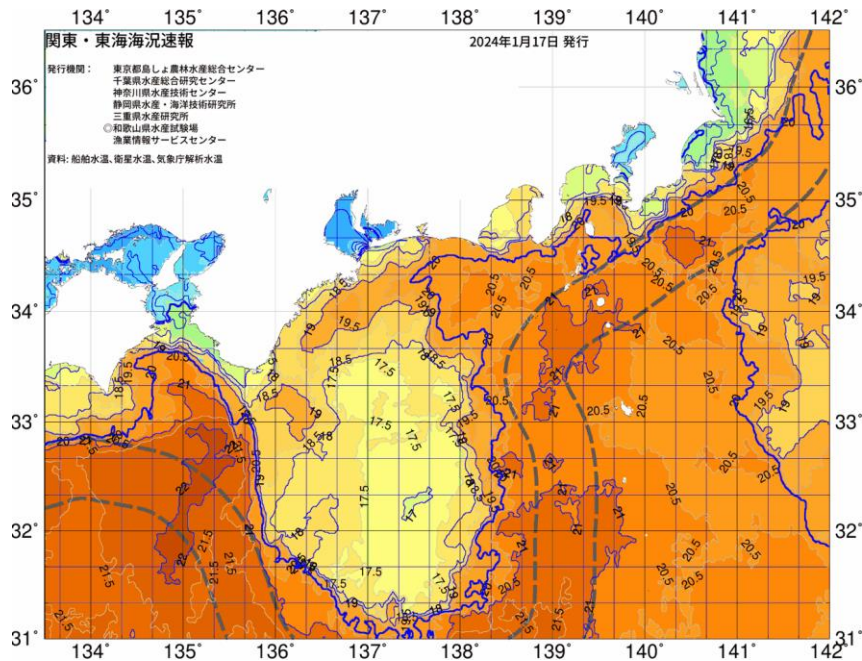


図10 黒潮の動き (令和6年1月17日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2014~2023年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (mL/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)	
内湾	船橋	11.4 (10.2)	31.9 (31.27)	3.5 (3.3)	8.2 (8.3)	6.6 (6.8)	27.2 (55.1)	601.2 (545.3)	22.4 (24.7)	2.4
	st.15	11.8 (10.5)	31.8 (31.5)	2.5 (4.1)	8.2 (8.2)	5.3 (6.1)	9.1 (52.5)	559.8 (517.8)	22.7 (26.2)	14.8
	st.3	11.6 (11.3)	32.1 (31.7)	4.5 (4.9)	8.3 (8.2)	5.6 (5.7)	21.1 (52.0)	510.0 (518.8)	19.4 (25.0)	3.7
	st.6	12.2 (11.3)	32.5 (31.9)	5.0 (5.9)	8.3 (8.2)	5.3 (5.4)	7.8 (46.2)	394.3 (482.9)	14.7 (23.6)	13.9
	st.9	12.5 (11.7)	32.8 (32.3)	5.0 (6.1)	8.3 (8.2)	6.1 (5.9)	6.2 (34.8)	342.3 (421.3)	15.4 (22.8)	12.0
	st.BC (盤洲Cブイ)	12.1 (11.5)	32.6 (31.9)	4.5 (4.7)	8.3 (8.2)	6.5 (6.3)	10.0 (41.7)	387.9 (470.3)	16.9 (23.4)	5.0
	st.8 (盤洲A南)	12.3 (11.6)	32.7 (32.2)	3.5 (5.1)	8.3 (8.2)	5.5 (5.6)	3.0 (40.4)	351.4 (432.1)	14.5 (23.0)	15.0
	富津	12.7 (12.0)	32.8 (32.5)	5.0 (6.3)	8.2 (8.2)	5.8 (5.9)	33.1 (44.6)	352.1 (393.8)	16.7 (24.5)	5.4
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	12.9 (12.6)	33.8 (33.1)	5.0 (4.9)	8.3 (8.3)	5.8 (4.9)	42.4 (26.4)	251.9 (305.6)	11.2 (21.1)	2.5
	st.31	16.5 (14.7)	34.8 (33.8)	14.0 (9.9)	8.3 (8.3)	5.3 (9.7)	11.6 (6.7)	93.0 (188.1)	10.1 (15.7)	0.2
	st.23	17.6 (16.6)	35.0 (34.1)	14.0 (17.3)	8.2 (8.3)	5.1 (16.2)	6.1 (5.6)	70.7 (93.7)	10.5 (11.1)	0.1
	st.1	18.7 (17.0)	35.0 (34.4)	19.0 (17.6)	8.3 (8.3)	5.1 (16.9)	9.5 (5.6)	54.2 (86.7)	6.1 (10.5)	0.2
	st.10 (下洲沖)	13.8 (14.3)	34.2 (33.8)	5.5 (8.4)	8.3 (8.3)	5.9 (8.8)	13.6 (10.9)	185.8 (201.1)	12.5 (16.6)	1.7
	st.12 (湊沖)	15.8 (14.3)	34.8 (33.8)	8.0 (7.2)	8.3 (8.3)	5.8 (7.5)	6.9 (11.8)	91.9 (180.6)	9.5 (14.7)	
	st.22 (保田沖)	17.7 (16.4)	35.0 (34.4)	18.0 (14.7)	8.3 (8.3)	5.2 (14.0)	4.3 (2.8)	64.4 (95.9)	8.7 (11.5)	0.2
	st.24 (富山沖)	17.8 (16.6)	35.0 (34.4)	18.0 (15.2)	8.3 (8.3)	5.2 (14.2)	6.1 (3.1)	63.4 (90.0)	8.8 (10.8)	0.4
st.26 (館山海内)	18.5 (16.9)	35.0 (34.5)	21.0 (16.8)	8.3 (8.3)	5.1 (16.1)	4.6 (8.9)	50.9 (86.2)	6.6 (10.4)		

注) ※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。